2026 年 11 月 10 日
一般社団法人漁業ブ

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

一般社団法人 漁業ブ

高校・大学生による海の体験と未来づくりツアー

【さかなたび秋の北陸ツアー2026（富山）】を開催しました！

2026 年 11 月 7～8 日（富山県朝日町・富山市・魚津市・滑川市）

一般社団法人漁業ブは、2026 年 11 月 7～8 日に、高校・大学生が海と漁業の現場を体験しながら水産業の未来を考えることを目的として、漁業ブさかなたび 秋の北陸ツアー2026（富山）を開催いたしました。
（このイベントは、日本財団の助成を受けて実施しています。）



（滑川漁協の皆さんと参加メンバー）

「さかなたび」とは？（https://sakanatabi.net/）



「さかなたび」は、海と生きる地域の現場に飛び込み、漁業体験や地域交流を通じて、アクションを考える若者たちを育成するツアープログラムです。単なる体験型イベントにとどまらず、学びと行動をつなぐアウトプットワーク（体験・提言発信活動）を通じて、未来志向のリーダーシップ育成を目指しています。

本ツアーでは、現地体験を単なる思い出に終わらせず、体験からの学びを言葉にするワーク、未来への提言を考えるアウトプット発表、事後のアクション・プロジェクト実施など、参加者自身が「社会に発信する力」を身につける機会を設計しています。単に参加するだけではなく、「未来をつくる主役」としての一歩を踏み出す体験となります。

イベント実施概要

・**ツアー名：**漁業ブ「さかなたび」秋の北陸ツアー2026（富山）
　　～海の恵みを味わい、未来へつなぐ学びの旅～
・**開催日程：**2026 年 11 月 7 日（土）～11 月 8 日（日）（2 日間）
・**開催場所：**富山県（朝日町、富山市、滑川市、魚津市）
・**参加人数：**首都圏および全国各地の高校・大学生 15 名
・**助成：**日本財団

【１日目のツアーの内容と様子】



朝日町泊漁協を訪問＆カニランチ

脱サラ漁師の徳田さんに浜を案内していただきながら、取り組みについて伺い、漁師さん自慢の蒸しカニランチを！



甘エビ昆布締め作り

泊漁協にて、漁師さんの加工品作りをお手伝い。なぜ“獲る”だけでなく、“加工して売る”ところまで行うのかを学びました。



東岩瀬 御料理ふじ居にて料理を学ぶ

富山を代表する料亭、御料理 ふじ居にて富山の地魚・白海老についてご主人の特別講義。白海老真薯を実際作っていただきました！



世界の注目を集める東岩瀬の街づくりを見学

世界レベルの食と工芸、日本酒を通じた地域再生で注目を集める岩瀬町を散策しました。



水橋食堂にて漁師さん達と地魚ディナー

水橋漁港の漁港食堂・漁夫にて漁師さんと交流しながら海鮮ディナーを満喫しました。

【２日目のツアーの内容と様子】



滑川漁協にて朝食と漁師さんのお話

滑川の漁師さんたちは、漁業に真剣に向き合いながら、チームとして海業にも取り組み始めています。漁師さんお手製のあら汁朝食をいただきながら。



富山県水産研究所で講義&施設見学

ノドグロの種苗生産や養殖技術の研究などを行う水産研究所を特別に訪問し、施設見学と特別講義をしていただきました。



魚津水族館にて、富山湾の生態系を学ぶ

日本最古の魚津水族館にて、富山の生態系を切り取った工夫ある展示を見学、また水族館の地域に対する研究活動・教育活動についても教えて頂きました。



富山の神経締めの先駆者と魚介ランチ BBQ

富山の神経締めの先駆者である漁師の浜多さんが作った干物を中心にした BBQ を楽しみながら交流しました。



最終アウトプットセッション

魚津商工会議所にて、大屋進之介さんより富山の水産業についての整理とツアーの振り返りを行います



まとめとチームビルディング

最後の振り返りとまとめの議論を行い、２日間のさかなたびも終了。参加メンバーは今後も継続的に仲間として、さまざまな情報共有やイベントなどの繋がりを深めていきます。

参加した学生の声から（最終アンケートのコメントより）

- この地域が漁業によって支えられていることを知ることができた。漁業を中心に料亭・水産研究、水族館、観光、飲食店などが連携して街づくりをしていることを知り、素敵だと思いました。
- “人”から多くを学んだ。いろいろな場に訪れて体験をして、現場の人に出会えました。漁業の全体像を見つめるきっかけになった。自分の学びとリンクさせて今後の活動を考えるきっかけになった。漁業が身近になった。
- いろいろな方、魚、土地（街）と出会えたこと。東京では脳みそに知識を蓄えることができるけれど、実際に見て話して、感じてそして食べて、新体制に基づく感覚を得ることは富山に来ないとできなかったことで、生涯の宝になった。
- まずはさかなたびで新たな人との関わりを持てたこと、次に漁協の人たちと親睦を深められたことが楽しく、嬉しかった。
- ツアーでいろいろな大学や高校の人の話を聞くことができて、考え方や視点の当て方の違いがあり、新しく学ぶことも大きかった。〜

一般社団法人漁業ブでは、今後も「さかなたび」を全国各地で展開していく予定です。ご期待ください。

一般社団法人漁業ブについて

一般社団法人漁業ブは、多様な異業種のメンバーが集まって、海洋教育・漁業体験・地域資源の魅力発信を軸に、次世代育成や持続可能な海づくりに貢献するプロジェクトを推進しています。未来のために地域と都市、海と人をつなぐ架け橋となる活動を展開中です。
公式サイト　　：https://www.gyogyobu.jp
公式 SNS　　：https://www.instagram.com/gyogyobu/

＜お問い合わせ先＞

一般社団法人 漁業ブ「さかなたび」事務局
担当：小西 圭介／松田 美穂
email：sakanatabi@gyogyobu.jp